

平成 26 年度 第 4 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 26 年 11 月 14 日 18:30～

出席者：兼子、諏訪、浅野、藤井、柴、多和田、近藤、鈴木敦、臼井、森本

欠席者：

議長：兼子 徹

議事録：藤井

【日臨技より】

1 平成 26 年度高度先端医学セミナー

平成 26 年度高度先端医学セミナーが開催されます。テーマは、「精度保証と第三者評価の必要性」

2 各受賞候補者の推薦について（依頼）

日臨技学術奨励賞「優秀論文賞」、「特別奨励賞」の推薦

下呂温泉病院の技師が特別奨励賞の可能性があるととの事であった。

永年職務精励者表彰推薦書

今までは、申請をしなくても表彰されたが、今後申請書を出すのかを確認する。

3 結核研究奨励賞公募

会報で該当者を公募する事となった。

4 検体採取に関する厚生労働省指定講習会の開催及び受講の周知について（ご依頼）

平成 27 年 4 月 1 日から、臨床検査技師の業務範囲に一定の検体採取が追加される事になりました。また、生理学的検査に嗅覚検査及び味覚検査が追加される予定です。検体採取に関しては、平成 27 年 4 月 1 日の時点で既に臨床検査技師免許を取得している者等については、「厚生労働大臣が指定する研修」を受講する事が義務付けられます。5 年間のうちに検体採取のライセンスを取得する。5 年過ぎると講習会会場が少なくなるとの説明があった。現在のところ講習会の日程は不明であるが、日臨技のホームページで案内をするとの事です。

現在検査技師が検体採取を行っている施設では、平成 27 年 4 月 1 日以降、検体採取の講習を受講しなければ違法になるとの話があった。

講習の受講料が 1 万円と高いので、自費か病院負担になるのかと言う話があった。

【中部圏支部】

1 平成 27 年度 中部圏支部医学検査学会（静岡）における部門企画について

来年度の中部圏支部医学検査学会では、「守 破 離」をテーマとして準備をお願いしますとの案内が届いています。学術部門の近藤理事より、すでに対象部門の 9 部門には、案内を出したとの報告があり、各部門長にまかしてあるとの報告があった。

2 中部圏支部 幹事会議

2018 年中部圏支部担当で全国学会を行う予定で、確かな情報ではないが、静岡県が行うのではないかと報告があった。学会開催の収入源の多くが機器展示料で、地方での開催は、企業側な難色を示しているとの報告があり、岐阜県開催の話は今の所出ていないとの報告が会長よりあった。運用面では、学会抄録 CD の廃止し、Web 抄録に移行し 600 万円の削減となるとの報告があった。

中部圏支部医学検査学会で、日臨技より、学術枠、生涯枠の 2 枠を確保するとの話があった。

IFBLS（世界医学検査学会）を 2016 年に神戸で開催するとの報告があった。

学術企画委員会報告では、平成 26 年・27 年度 支部学術部門員名簿が会長の所に送られ、確認後返信し、その後依頼状が送付された。支部部門長には委嘱状が送付される。生理では 3 つの分野に別れ、各トップが分野長となり、その中の 1 名野久技師が部門長となるとの報告があった。

平成 26 年度事業について、第 2 回遺伝子・染色体研修会、第 2 回高度先端的セミナー、先駆的臨床検査技術研修会、第 3 回高度先端セミナー、第 4 回高度先端セミナー、第 5 回高度先端セミナー、第 6 回高度先端セミナーが行われる予定であり会員の方に案内を出すとの報告があった。

公益事業報告では、臼井理事より高校生向けガイダンス支援事業を 11 月に検査と健康展で出来たらいいなどの報告があった。

中部圏学会の式典は、必ずしも行う必要はない。そして、オープニングセレモニーを行う、もしくは特に何もしないとの報告があった。

第 64 回日本医学検査学会 若手技師セミナー「さがそうみらい」の演者推薦は愛知の方に決定したとの報告があった。

支部学術奨励賞は、35 歳以下となっているが、多少の幅を見てもよいとの報告があった。

共同発表者の掲載料は、非会員は今までどおり 5,000 円徴収するとの報告があった。

臨床検査技師養成所に在籍する学生は、学会参加費を免除するとの報告があった。中部圏支部部門研修会で収支が赤字の場合は日臨技と交渉となるが、担当県の負担となる可能性が大であるとの報告があった。

検体測定室は現在 100 施設が登録されていて、今後ファミリーマートに併設の薬局で検体測定室を開設する予定。精度管理は日臨技が行うとの報告があった。

検体採取研修会が中部圏支部では、静岡 2 回、石川 1 回、名古屋 4～5 回の開催を予定で、どこで研修を受けても可との報告があった。

日臨技中部圏支部医学検査学会が平成 27 年 9 月 27 日・28 日に「守 破 離」のテーマで、静岡県コンベンションアーツセンターで行われるとの報告があった。

役員の行動費は、岐阜県は 1,000 円、愛知 300 円、静岡 4 時間 500 円、富山県 1,000

円、石川県なし、三重県なしとの報告があり、岐阜県では、会計士さんより何時間行っても 1,000 円はおかしいとの指摘があったが、今の所変更は考えていないとの報告が会長よりあった。

【岐臨技より】

1 平成 26 年度 大垣 市民の健康広場報告

平成 26 年 10 月 19 日に大垣城ホールにて開催された。詳細内容は、血管年齢測定、骨密度測定、生活習慣病の予防、血管・血液検査についての説明を行いましたとの報告があった。生涯教育の登録がなされてないため、事前に学術部門長に連絡し、日臨技に登録をしてもらうとの報告があった。

決算書に交通費が一律 500 円になっているので、自宅からの距離で計算しなおし、決算書を修正する事になった。

2 ニューリーダー研修報告

鈴木理事よりステップ表を用いて物事を順序だてて目標を達成する講習を受けてきたとの報告があった。横地技師より検体採取と、日臨技の今後の動向についての話があった。今回の研修は男性が多かったので、今後女性の会員比率が 8 割になると予測されるので、次年度は女性の方に研修に行ってもらいたいとの報告があった。

多和田理事より精度管理事業を公益事業にしたいとの意見があり、鈴木理事の回答ではそんなに難しいことではないとの回答があった。しかし、会長、鈴木理事は今のままの方が良いとの意見があった。

3 平成 26 年度診療報酬改定の結果検証の係る特別調査の調査案について

日臨技は調査の内容に検査技師の項目を入れるのに努力をしたので、アンケートが来ましたらよろしくお願いしますとの案内があった。

4 平成 27 年度の予算について

平成 27 年度の予算をクリスマス頃までをお願いしますとの事でした。

臼井理事よりリ克雷シヨンの予算を取っても良いのかとの提案があり、前向きに行うと言う意見があった。

【学術部】

近藤学術部長より学術部の報告があった。

1 中部圏支部医学検査学会シンポジスト

中部圏支部医学検査学会で、破の部門で新たな独自の業務に挑戦し活動をした岐阜県の人で、多和田理事に共用基準範囲についてお願いしたいとの要請があった。病棟採血を推進している所での意見があったが、岐阜県では知るところではないとの意見があった。

検査技師から新たな職種に挑戦している人との意見があった。たとえば事務長、教員、医療安全など。

2 座長の依頼

座長の依頼が来ています。今年は北九州の福岡国際会議場で行われます。微生物、病理・細胞診、生理、一般の座長の依頼が来ているとの報告があった。病理・細胞診は東海中央病院の日高先生で決定。一般は岐阜大学の牛丸先生、生理は岐阜大学の野久先生、微生物は岐阜大学の中山先生にお願いしたいとの案があったが、問題は、岐阜大学が3名で、座長では日当、交通費、宿泊費が出ない問題があり、岐臨技で一部負担する意見もあった。

3 外部講師の案内

臨床化学、一般で外部講師の越先生をお呼びする予定、講師料2万円、交通費1万5千円

微生物の外部講師大滝先生、講師料2万円、交通費18,660円、宿泊費

生理の外部講師、岐阜大学の中島先生、講師料3万円

病理・細胞診外部講師、2人の外部講師で、講師料2万円、交通費23,500円、講師料2万円、交通費4,160円、東京からの技師は、宿泊費も加える事となった。

4 学術部の行事が多くて大変という事で簡略化したいとの意見があった。

新人サポート研修会を秋季拡大研修会に取り入れる意見もあったが、とりあえず例年どおりに行う事となった。

協賛に関しては、技師会として約束事はなく、文章として協賛を入れるとの報告があった。

【精度管理】

多和田精度管理部長より岐臨技精度管理について報告があった。

1 岐臨技精度管理

11月7日に精度管理の部会が行われました。各部門の最終評価を確認し承認をしたとの報告があった。ヘモグロビンが測れなかった件は、洗浄操作が壊れたため血球が減りヘモグロビンが2ぐらいの資料を出したためとの説明があった。血液は毎年EDTAを入れていたが、今年は入れなかったため血小板がだめであったとの報告があった。一般のフォトサーベでは、赤血球の糸球体と非糸球体の正解率が2年続けて悪く、正解率が70%を切っているとの報告があった。

回答の修正期間に変更した所は、変更した理由を確認してもらう。

修正後11月24日までに再度集計をし直し、再度評価を行うとの報告があった。今回のサーベでは、修正期間の時に回答が見えてしまっていたので、次年度はどうするか検討中との報告があった。

今回の問題点は、マスターの名所とプール資料の作成に問題があったとの報告があった。

今年の報告会は、資料の印刷物は作らなく、1月19日からJAMTQCからプリントアウトしてもらい、各自で持参することにした。

総括集も 12 月 20 日までに出してくださいとお願いしてあるとの報告があった。
また、総括集、評価表と参加証を 12 月の定期便に間に合うように作りたいとの報告があった。

共用基準範囲について、精度管理委員会としては、基準値の統一が最終目標であるため賛同したいとの報告があった。

輸血の資料が来年からは有料になり、約 2 万かかるとの報告があった。

プール尿を 1 次サーベで使用し、それを凍結し 2 次サーベで使用する事を検討したいとの報告があった。

施設認証の更新は 11 月 28 日が締切で、岐阜県による事前審査は行わないとの報告があった。

精度管理メンバーをスムーズに交代できるように作業書の作成を進めているとの報告があった。

共用基準値で、単位は同じでも表現方法が施設によりバラバラであるとの意見があった。(特に血算)

【組織調査部】

臼井組織調査部長より報告があった。

- 1 11 月 15 日に HIV の啓蒙活動を 6 名の参加で行うとの報告があった。
- 2 12 月に無料 HIV 検査会の事前打ち合わせがあるとの報告があった。
- 3 1 月にも県から依頼があるとの報告があった。

【広報宣伝部】

森本広報部長より報告があった。

1 ホームページについて

岐臨技のホームページについて、先日前北村会長、デックナレージ、ホームページ委員 3 名、会長、学術部門長で、説明を受け、ホームページの基本パッケージの中で使えるものがあれば使って欲しいとの説明があった。その機能の中で、メールアドレスを各理事に与え、使用する事が可能なため今後使用するかしないかを検討して欲しいとの意見があり、とりあえずアカウント名を登録だけはしますので検討をお願いしますとの要請があった。

ホームページのレイアウトは今までどうりで行うとの報告があった。

議事録の場所が勝手に移動されていたり、機能が変更されていたりしているので、今後は勝手に変更しないように忠告をする事とした。

今後ホームページの権限をもらうことになっているとの報告があった。

ホームページビルダーを購入し編集をする事を今後デックナレージと相談し検討する事とした。

【会計部】

柴会計部長より報告があった。

- 1 10月31日に牛丸会計士との確認が終わったとの報告があった。そこで種村さんの雇用保険の加入の話が出て、来年1月から加入する予定との報告があった。
- 2 岐臨技の通帳を1冊から2冊にするとの報告があった。
- 3 精度管理の振り込みを、手数料を引いて振り込む施設があり、今後どうするかと言う話があったとの報告があった。
- 4 協賛の方で、新人サポート研修会の振込がしていない所が2件有り、請求をしていますとの報告があった。
- 5 決算書を作成中で、次の理事会に出せるようにしたとの報告があった。

【庶務部】

藤井庶務部長より報告があった。

- 1 議事録を作成したのをメールで添付しましたので、チェックをお願いします。
- 2 会員名簿を現在作成中との報告があった。

議長

弟子 徹



議事録署名人

諏訪 浩



議事録署名人

浅野 敦

